

平成30年度第2回はんだ環境パートナーシップ会議録

開催日時		平成30年9月25日（火） 9時30分～11時30分				
開催場所		半田市役所303・304会議室				
会議次第		1. あいさつ 2. 議事 ①半田市環境基本計画に関する評価・提案のまとめ（平成29年度実績）について ②環境保全ポスターコンクール優秀作品の選考について ③半田市環境基本計画に関するプレ評価（9年分）について 3. その他				
出席委員 ※敬称略		会長	千頭 聡			
		委員	堀崎 隆資	平林 明美	澤田 政孝	
			渡邊 量次	石川 由弘	桑田 八重子	
			牧野 純子	神戸 繁明	榊原 正躬	
			近藤 倉治	鈴木 俊行		
出席職員	事務局	課長	長谷川 信和		主査	佐々木 信裕
		主査	中村 裕道		主事	青木 大介
次 第		議 事 概 要				
1. あいさつ		－会長あいさつ－（略）				

2. 議事 議題①	半田市環境基本計画に関する評価・提案のまとめ（平成29年度実績）について （事務局） 議題①においては、パートナーシップ会議としての平成29年度実績の単年度評価を決めていただく。 －資料に沿って説明－（略） （会長） まず、事務局が提示した評価・提案（案）に対し、柱ごとに質問や意見交換を行い、後でまとめて各柱の評価を行う。 【柱1 ひとにやさしく、快適な環境で安心して暮らせるまち】 （会長） 従前から矢勝川の水質がよくなるということが挙げられている。 市として調査する予定か。 （事務局） 矢勝川については、下流より上流が汚いことを把握している。 今年度は、実際に川に入り、歩いてどこから水質が変化するのか目視で確認する調査を予定している。
-------------------------	---

(会長)

川については雨が降った時に、汚れることもあるので、雨が降った時にも調査することも検討してほしい。

(委員)

水質は分からないが、見た目では綺麗になったと感じる。

周辺にごみ等がほぼ落ちていない。

(事務局)

近隣の畜産農家等が、ごんの秋まつりに向けて、ごみ拾いをしたと聞いている。

(委員)

「庁内評価」と「市民評価」にズレが生じている。

例えば、柱3では、市民評価ではCはないが、庁内評価でCがある。

(事務局)

柱3のCは、経済課の耕作放棄地対策である。

目標に達していないので庁内評価ではC評価となっている。

(会長)

「庁内評価」は各課の取組目標に対するものであり、機械的に評価している。

「市民評価」は、柱ごとの総合評価と認識してほしい。

(委員)

柱1に、「海域海水が悪化している」との記載があるが、どのような理由によるものか。調査日の潮の影響などがあるのではないか。

(委員)

実績報告の指標分析に、「阿久比川の下流域の水質が悪化し、潮流等の影響について調査する必要がある」と記載があった。海が原因ならば、調べてほしいとの思いからコメントした。

(事務局)

阿久比川下流での調査結果にばらつきがあり、潮の影響が考えられると報告した。

(委員)

以前、海底の泥が悪い影響につながっていると聞いた。

しかし、泥の調査においては、県は実施しないとも聞いている。釣りやアサリ取りもあるので心配している。

(事務局)

アサリの調査は環境課で実施しているが、健康被害につながる汚染はない。

(委員)

「海域海水が悪化している」との委員のコメントをそのまま記載している。半田市として、そのコメントを認めるのかの問題である。

また、市として河口のBOD調査は必要なのか疑問である。継続的に調査をするのであれば、条件を設定する必要がある。特に河口では、潮の影響の少ない時にするとよいと思う。

(会長)

水質調査は委託しており、業者は雨の降っていないときに調査を行っている。今後は、委託契約の仕様に、調査の天候や潮位などの条件加えるように提案したい。

また、「海域海水が悪化している」という表現については、今までの議論を基に改める。

(委員)

海の水質は、BODで評価することは出来ない。指標が非常に分かりづらい。

(会長)

測定地点を地図に載せるなどの工夫をするとよい。

(委員)

矢勝川について、以前にため池の影響があると聞いたことがある。ため池の測定はしているのか。

(事務局)

ため池の水質調査は、折戸池・上池・宮池で行っている。

折戸池は、生活排水の流入がなく、水質は悪くない。

上池は、愛知用水の流入があるものの、水質は良くない。池の底に溜まった堆積物が原因であると考えている。

宮池は、愛知用水も流入せず、雨水と生活排水が流れ込み、水質は非常に悪い。

(委員)

矢勝川については、半田池が無くなったからだと言われている。生活排水が原因なのか、又は違う原因があるか、しっかり分析した方がよい。

(事務局)

今年度、矢勝川の調査を行う際に、ため池からの流入も調べる。

(会長)

矢勝川については、重点河川とし、しっかり調査等をしてほしい。

(事務局)

矢勝川は、以前の水質調査では、大腸菌が多かった。

周辺農家に施設の点検を呼びかけたこともあり、現在大腸菌は減っている。しかし、BODは下がっていない。

また、今年度は阿久比町とも連携し、原因の調査を行っている。

矢勝川については、今後も原因究明のための調査をしていきたい。

(会長)

市長への報告の際に、市長には矢勝川の水質改善についてしっかりお願いしたい。

(委員)

今年度、水辺のクリーンアップ大作戦が中止になった。

例年、大量のごみが回収されている。

今回、中止になったことにより、それらの大量のごみが回収されなかった。環境への影響があるのではないか。

簡単に中止にしてしまいよかったのか。市の考えが聞きたい。

(事務局)

今年は非常に暑い日が続き、熱中症の危険性が伴ったため、主

催である市民憲章実践協議会が実施を断念をした。

亀崎海浜緑地においては、ボランティアが継続的にゴミ拾いを行っている。本来は、年1回の事業よりも日々の継続が大事であり、クリーンアップ大作戦は、その継続活動のための啓発活動と考えている。

なお、台風などで大量のごみなどが陸に打ち上げられた場合は、管理者である県の衣浦港務所が撤去している。

(会長)

評価・提案の課題欄には、クリーンアップ大作戦についても、挙げておく。

【柱2 地球環境を守り、持続可能な社会を目指すまち】

(委員)

温室効果ガスを、半田市としてはどこまで測定しているのか。市として重要である。

(事務局)

市も一事業として、温室効果ガス削減を目指す「エコアクション」を策定している。

各課にヒアリングをし、削減の提案等をしている。

まずは、半田市が一事業者として、市全体の手本となる必要があると考えている。

(委員)

温室効果ガスに換算することで何を重点とするのか。

それから何が見え、何を実行するのか。

次世代に良い環境を残すための取組みをしてほしい。

(会長)

半田市が、ISOを取得していれば、今の状態ではいけないと分かるはず。

定量的に何をすればよいのかを考えてほしい。

(委員)

「家庭部門のCO2年間排出量」が指標で上がっているが、按分計算の根拠は何か。

また、それらに意味はあるのか。

(会長)

環境省のツールで、市町村単位の数値が分かる。

市町村単位で正しく数値化できるか疑問はあるが、推進のためには市でモニター実測をすることも必要である。

場合によっては、アンケートなどの手法もある。

これらについても、「実態の把握方法が不明確なこと」を課題として記載したい。

(委員)

課題に挙がっている「省エネ法上のSクラスではない」とはどういうことか。

(委員)

省エネ法は、エネルギー起源CO₂を事業者として削減することを目標としている。

省エネが優良な事業者はSクラス・一般的な事業者はAクラス・省エネが停滞している事業者はBクラスに分別される。

5年間の平均で年1%の削減をするとSクラスになる。

(事務局)

省エネ法の報告の際に、半田市では、市長部局と教育委員会で別に報告する必要がある。

機構改革により、スポーツ課が教育委員会から市長部局へ移管した分、排出量が増加したため、市長部局についてはSクラスではない。

現在、「エコアクション」にも力を入れており、将来的にはSクラスを、達成しなければならないと考えている。

【柱3 豊かな自然を守り、自然と共生するまち】

(会長)

外来生物の駆除として、市で取り組んでいることはなにか。

(事務局)

毎年、一部の地域で「かいどり」が行われている。

市の職員もそれらに参加して、外来種駆除の協力をしている。

【柱4 美しいふるさとと、歴史や文化を大切にするまち】

(委員)

公園の公衆トイレについて、近年閉鎖されてきているところがある。いたずらなどの予防という管理上の理由もあると思うが、建物があるのに使えないのでは困る。無いならないで良いが、中途半端では困る。

(会長)

公園トイレについても、維持管理のことを課題として記載したい。

【柱5 みんなで環境を守り育てるまち】

(委員)

提案の文言に「三役も出席し活動を理解する」と記載がある

が、学校としては、環境学習・校外学習の重要性は理解している。

(委員)

第1回の会議で私が提案した。コメントについては修正したい。

(会長)

コメントを修正する。

「アンケートを取り、その結果を企業に伝達する」との提案があるが、企業側の意見としてはどうか。

(委員)

リサイクル率が上がらない一因として、製品自体がリサイクルしにくいものになっていることがある。子どもにリサイクルしにくい商品についてのアンケートをお願いして、その結果を企業に伝えることで消費者の現状を把握してもらうことが製品改善につながる後押しになると思う。企業側も、子どもの意見は無視できないと思う。

(会長)

内容が分かりやすいようコメントを修正する。

(委員)

外国人に対する分別教育やごみの出し方は大切であると思う。

外国人に限らず転入者には、転入窓口で、ごみを捨てる場所
(ごみステーション)の案内をしているのか。

捨てる方は、クリーンセンターが発行している冊子でわかるが、
捨てる場所は冊子だけでは伝わらない。

(委員)

区へ加入する人には、案内をしているが、区に加入しない単身
者や外国人には伝える方法がない。

市では、区への加入を勧め、区長に聞いてもらうように案内し
ている。

(会長)

分別・捨てる方の多言語化は、どの市町村でも進んでいる。

しかし、捨てる場所については、区の管理等もあり、市が指示
できない実態もある。

また、外国人に区という組織の説明ができない。

大家や不動産業者にも協力依頼する必要がある。

外国人に限定した表現については、コメントを改める。

【評価】

(会長)

柱１の評価をする。皆さん（委員）の評価は、「Ａ」１０名、「Ｂ」２名。評価は多数決ではないので、特に問題だということがあれば、発言していただきたい。

特にないようなので、意見交換も含め、評価を「Ａ」とする。

（事務局）

先ほどクリーンアップ作戦の中止の話をいただいたが、今回は平成２９年度の評価になるので、来年度評価とさせていただく。

（会長）

クリーンアップ作戦については、次年度の評価で、中止の件についても記載したい。

続いて、柱２の評価をする。「Ｂ」と評価された方が７名いる。

（委員）

温室効果ガス対策が進んでいないと感じるので「Ｂ」とした。

（会長）

課題も見受けられるので、評価を「Ｂ」とする。

（会長）

柱３の評価をする。「ＡＡ」と評価された方が２名、「Ａ」が

9名、「B」が1名である。意見交換から「A」とする。

柱1, 2についてもだが、各委員の評価が分かれているので、
評価の内訳を評価・提案書に記載するようにする。

(事務局)

全ての柱について、委員の内訳が分かるような表現に変更する。

(会長)

柱4の評価をする。

(委員)

頑張っているが、AAの評価にはまだ十分ではない。

(会長)

意見交換も含め、評価を「A」とする。

(会長)

柱5の評価をする。「AA」と評価された方が1名、「A」が
9名、「B」が2名である。評価を「A」としてよろしいか。
特に意見はないようなので、「A」とする。

(会長)

評価・提案については、文言を事務局と私で修正して、委員に
確認をお願いします。

今日提示している資料の取り扱いは、どのようになるか。

(事務局)

今回の評価のため、資料であり、公表等は特にしていない。

(委員)

評価方法について次年度の参考にしてもらいたい意見として、小項目が多くあるのに、大枠のみで評価する弊害があるのではと思う。

例えば、市民の健康に直結するものが悪い評価になっても、他の項目を含めた大枠で評価されることで良い評価になるような事態は避ける必要がある。よって重要度の高いものは小項目で評価するか、それが難しいなら最も低い評価に全体評価を合わせないと市民目線に合致しない評価となってしまう。

(事務局)

新計画作成に合わせ、評価方法については改めたい。

また、資料の取り扱いについては、評価・提案については、会議の総括として公表しているが、それまでの過程としての委員の細かい意見等が伝わりづらいので、今回から関係各課に配布をしたい。

	(会長) 総合計画でも多数決による決定はしていない。 全体として良くても、市政上どうしても良くない項目があれば、厳しい評価をしている。 ===== 議題② 環境保全ポスターコンクール優秀作品の選考について (事務局) 議題②においては、環境保全ポスターコンクール優秀作品の選考していただく。 ー資料に沿って説明ー (略) 《説明後、各委員が選考、最優秀賞 2 点と優秀賞 9 点を決定》 (事務局) 募集方法などご意見がありましたら、この場で伺いたい。 (委員) 現在、応募者には参加賞を渡していると思うが、来年度以降はどうなるのか。 (事務局) 市の予算査定で、市が行う他のコンクール等と足並みをそろえるよう指摘を受けている。
--	---

	他のコンクール等では、入賞者への賞品はあるが、参加賞の配布は行っていない。 (委員) これからの環境活動を担っていく子供が一生懸命書いてくれた作品を最大限尊重することが大切で、全ての作品を展示したり、環境のことを考えながら作図に取り組んでくれた努力を称えるために参加賞（賞状など）は出した方がよい。また献血カードのように「何年連続で応募した子には**賞」とか、環境意識を持続的に醸成させていく方法を検討してほしい。 (委員) 参加賞の有無は、応募者数に影響する。環境問題は大きな問題であり、また子どもの内からの意識づけが必要である。予算の問題だけではなく、参加賞は出してあげたい。 (会長) パートナーシップ会議の強い要望ということで、予算を確保してほしいと思う。 ===== 議題③ 半田市環境基本計画に関するプレ評価（9年分）について (事務局)
--	--

プレ評価は新計画を策定するにあたり、来年度のアンケートにその評価を反映させるために実施する。9年分の評価となりますが、平成25年度に中間評価をしているため、「中間評価からの評価」となる。今回は柱1のみ提示させていただくが、5つの柱すべてについて評価していただく。資料5の様式や参考する資料が足りない等がありましたら、ご意見を頂きたい。

(委員)

資料4が見つらい。

(事務局)

変更の有無としている表現も含め、できるだけ見やすいものにする。

(会長)

資料1に、中間評価以後の4年分もまとめ、委員に送ること。

(委員)

平成29年度は評価対象外となっているが、平成26～29年度すべて評価対象外になっている柱などはないか。

(事務局)

平成26年度までは5つすべての柱を評価していたが、その内容をより具体的なものとするため、平成27年度から5つの柱

を分割して２年に分けて評価することとした。平成２７年度は柱１、５を、平成２８年度においては、柱２、３及び４を評価した。平成２６～２９年度すべて評価対象外になっている柱はない。

（委員）

資料５の市民評価には、毎年の評価及びその際の各委員の内訳も加えること。

（委員）

今後のスケジュールはどうか。

（事務局）

プレ評価（９年）の結果を基に新計画のアンケートを作成する。次回は２月に開催をする。次回開催時にアンケートの素案を提示したい。なお、プレ評価の依頼については、今回の意見を反映後、担当課にも承認をとり、１０月末には送付したい。

（委員）

資料の量が多くなるので、メールではなく郵送してほしい。

（事務局）

ご意見いただいたので、全委員に紙面での送付とする。

=====

=====

3. その他	(事務局) 評価・提案書の最終案がまとまったら、内容のご確認の依頼をさせていただく。最終的にまとめたものは、市長への決裁、議会への報告を経て、11月末までには、HPにて公表する予定。次回は、2月7日(火)午前9時30分からを予定している。以上をもって会議終了。
---------------	--